こぶし

1974.12.20. 創刊号
こぶし共同作業所
代表者 鈴木 利子
宇都宮市川田町1217
TEL0286-45-3385

後援会が設立された

10月6日第一回「こぶし共同作業所後援会」設立総会が開かれました。資金0の状態で歩みだした「こぶし共同作業所」を資金面から支え、共同作業所の建設、運営に会員ができることで協力しようという趣旨によるものです。その後、沢山の方々の加入をいただき、さまざまの職業、年令の人々のご協力をいただいております。12月8日現在、会員数　206名
会費総額　28万円
となっております。

また、総会において、事務局に一任されていた役員の選任が次のとおり決定しました。

会長　植竹　春彦
副会長　増山　道保（県議）
〃　寺内　義雄（県議）
理事　江波戸啓悟（会社社長）
〃　上村　四郎（団体役員）
〃　佐藤　秀夫（弁護士）
〃　友枝　宗正（医師）
〃　松永　昂（医師）
監事　釜井　容介（会社社長）
〃　中村　欣平（会社社長）
（他に副会長1、理事1を現在交渉中）

こぶし共同作業所は、まだ生れたばかりです。今後とも沢山の善意の方々のご協力をを得なければなりません。1人でも多くの方々のご参加をお願い申上げます。（問合せ先 0286-45-3385 鈴木）

（文責　佐々木）

こぶしのあゆみ

障害があっても何かできる！〝障害児（者）の力をのばしてくれる〟そんなところを探し求めていました。県や市につくってくれるよう何度かお願いしましたが、なかなかその願いは実現しませんでした。一方、施設の職員の間にも、経験に基づきどんな重度の障害を持っていても、「やればできる」という強い信念がでてきました。親の願いと職員の願いが１つになって実を結ぼうとしています。

8月　共同作業所設立準備委員会発足の為打合わせ

9月15日 第１回設立準備委員会

20日 設立準備委員会「こぶし共同作業所」と名前が決まる。

10月 5日 設立準備委員会

6日「こぶし共同作業所後援会設立総会」

7日 設立準備委員会

17日 ボランティア学習会

17日 設立準備委員会

26日 ボランティア学習会 設立準備委員会

11月3日「日曜作業所」開所

10日「日曜作業所」開所 作業所設立の為、街頭署名カンパ運動

17日「日曜作業所」開所 街頭署名カンパ運動

24日「日曜作業所」開所 日曜作業所附近の署名運動、戸別訪問

28日 設立準備委員会

12月 1日「日曜作業所」開所 街頭署名カンパ運動

3日 設立準備委員会

6日 作業所設立の請願書を県議会、市議会に提出

8日「日曜作業所」開所 街頭署名カンパ運動

15日「日曜作業所」開所「こぶし」のため宇都宮青年会議所がバザー開く

（文責　小林）

仲間紹介

✿歌の好きなよしえさん、変身も得意です。
✿ラーメンの好きなヒデ君、こぶしフラワー作りが上手
✿盲腸炎を手術して休んでいるT君、一日も早く良くなって作業所へ来てネ
✿力仕事の得意なHさん、頼りにしています。
✿お世話好きで、話好きなWさん、まだまだ若いです。

日曜作業所が毎週開所される

こぶし共同作業所ができるまでの準備活動として、多くの人とのふれあいの中でお互いに育ちあう仲間づくりをすすめるとともに、楽しく仕事ができるようになることを目的として、日曜作業所が11月3日より始まりました。作業内容としては、洗濯バサミ組立、こぶしフラワー花びん作り等です。仲間が1人2人、3人……。それにお母さん、ボランティアの人達も1人2人、3人……。仲間もボランティアも期待と不安が入り混じった様子です。でも何かとても活気があります。洗濯バサミは障害者が考案したものです。バネがとても強いので、沢山つくっているうちに指先が痛くなってきます。こぶしフラワー作りではワイヤーを丸め、花びらを広げ、液につけるのですが、なかなかうまくいきません。花びらに穴があいたり、大きすぎて液のびんに入らなかったり、手に液がベットリついたりします。それでも皆とても真剣に取り組んでいます。こうして、なごやかで楽しい作業所が出発しました。作業所に来る日を、新しい靴を買って心待ちにしている仲間、外泊しても作業所があるから帰ろうと母親を説得する仲間そんな仲間を大切にみんなで日曜作業所を続けていきたいと思っています。（文責、小滝）

うちの子も仲間に

事情を説明して、やっと入園させた幼稚園も手がかかると1ヶ月で退園させられ、同じ年頃の子供が楽しそうに学校に通いだすと就学免除になった我が子と息をこらし、家の中にとじこもりました。障害児だからこそ教育も訓練も必要なのではないだろうか？　どうして学校に入れてもらえないのか？　子供の将来に対する不安が子供が成長するにつれて大きくなり、苦しみも増してきました。子供と家のなかで過ごす間中、「死ねたら死ねたら」と死ぬことばかり考えておりました。このままでいたら、苦しさに負けてしまう、なんとかしなければ……。

それから、私の作業所造りがはじまりました。障害児を持つ親達が集まり、自分達の納得のいく作業所を造くろうと資料集め、施設見学、全国大会参加、仕事探しと四方八方に飛び歩きました。施設で働く保母達も、私たちの仲間に加わって下さいました。障害者と親、保母、ボランティア、皆が一体となって運動を進め、日曜だけでも作業所が開けるところまでこぎつけました。重度障害者の発達を保障できる作業所は、障害者の為ばかりでなく、その家族の為にもどうしても必要なのです。

（鈴木）

なにもないこの地に
みんなの力で
みんなの心で
　こぶしの木を植えました
小さなその木は
やがて光をあびて
この地に根をおろし
　花を咲かせるでしょう
大きな花は仲間の願い
白い花はみんなの願い
　やがてその花は
いくつも実を結ぶでしょう

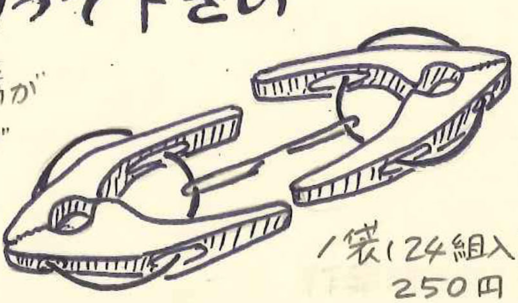
拳と辛夷（こぶし）の
こぶし共同作業所

重度障害者、ボランティアなど耳慣れない言葉の連続の中から盛り上がるたくましい力と大きく美しく開く白い花の意味をこめた「こぶし共同作業所」の名が誕生した時、前途多難ではあるが、これから1つ1つがとにかくみんなの力で初まっていくのだと言う強い感動を受けたのを覚えています。しかしながら、今の日本を見ると高福祉の掛け声だけは上っているが、実際はこんな民間の小さな力を結集しなければ障害者の生きる道すら開拓していくことができないのが現状です。こんな日本に生まれてこなければ良かったと思っている人も少なくないのではないかと思うと、なんとも抑えがたい憤りと複雑な寂しさを感じます。そして、欧米人の障害者に対する考え方、すなわち障害者のハンデイキャップを軽くするよう配慮していくのが社会の責任であるという考え方を、ほんとうに1人1人の人間を大事していくという意味で、今の日本に大きく広げて行かなければならないと思います。

日本に生まれてきて良かったと言えるように『こぶし共同作業所』がその契機をつくってくれるものと、いえ、つくるべく微力であるが、私も応援してい

洗濯バサミを買って下さい

こぶし共同作業所で障害者が組立てたものです。丈夫でやすく、便利です。まとめてご注文下さい。



1袋（24組入）
250円

きたいと思います。精一杯、自分でできることでよいから頑張っていこうではありませんか。

（一会員　設楽）

署名・カンパ活動の結果報告

希望するすべての障害者が働ける「こぶし共同作業所」建設についての県議会・市議会に対する請願の署名・カンパ活動に際しては、各方面からの沢山のご協力をいただきありがとうございました。12月3日現在下記の通りの成果を得、それぞれ請願書を提出いたしましたので報告いたします。

県議会宛	18.295名
市議会宛	3.077名
カンパ額	475.257円

（文責　住谷）

会員の皆様へ

「こぶし共同作業所」設立に物心両面にわたり、あたたかいご援助をお寄せくださり誠にありがとうございます。

今日の社会は、障害者にとって、決して住みよい社会とはいえません。障害者が友達と共に働き、人間らしい生活を営なむ場所、人間として発達していく機会等がせばめられております。この作業所は、どんなに重度と呼ばれようと、同胞とともに語りたい、働きたいという要求があれば、いつでも働ける、そういう作業所を目指しております。

今後とも「こぶし共同作業所」発展の為、ご協力下さいますようお願い申上げます。

こぶし共同作業所
設立準備委員会

編集後記

- 忙しかったヨ（小次郎）
- 年末一時金、不況、師走そして「こぶし」大変なことの連続でした。（徘徊者）
- 白い花が咲くまではと徹夜、彼にみせられぬ顔に（小）